

かみねっちょ新聞

令和3年 6月号

～あなたの知らない飼育員の世界～

サル山

新！猛獣舎 経過報告書

2020/12/06

今は無き、サル山こと旧ニホンザル舎。
懐かしいと感じる人もいるのではないのでしょうか？
この数日後、職員総出でニホンザルたちのお引っ越し
をしました！

2020/12/12

解体スタート！数十年もニホンザルが暮らし、お客さん
が楽しみ、飼育員が仕事をしてきた施設が崩れてい
きます。なんだか少し寂しい気持ちになりました。

2021/01/08

わずか1カ月足らずで跡形もなく解体されました。
業者さんの手際、重機のパワー、どちらもすごかった
です！

2021/05/07

こちらが先月の工事現場の様子です。新猛獣舎の何を
作っているのかというと、外壁を作っています。斜面
を削ったところに新猛獣舎の建物や展示場を建設する
ので、崩れてこないようにしているのです。

【これから】

壁が完成したら、動物たちの生活する建物
や展示場の工事がいよいよスタート！工事現場に入る
ことはできませんが、園路から遠目
で見られる部分があるかも？来園し
たときには動物たちを見つつ、工事
現場も眺めてみてください。きっと
来年のオープンが更に楽しみになり
ますよ！

飼育員 風間



園長のひといごと

ジェフロイクモザルの空中つり橋は、地上から高さ 10m ぐらいのところにあるロープ状の橋だ。南米のジャングルで一生の大半を高い木の上で暮らすクモザルの習性にあわせた環境エンリッチメント的な仕掛けである。ある時、ずいぶん騒がしいと思って上を見上げると、なんと去年生まれたクモザルの赤ちゃんがひとり取り残されギャギャ叫んでいるではないか。ずいぶん大きくなったとはいえまだ 1 歳にも満たない。落ちたら大変だ。急いで無線で飼育員に伝えると「最近、よく離されるんです」と冷静な返答。離す場所が違うではないか、と思って見ていると間もなく母親がやってきて何とか背中にしがみつき戻っていった。子どもをひとり立ちさせるための練習なのか、はたまた始終まとわりつかれて面倒くさいのか理由はよく分からない。しかし考えてみると樹上で暮らす彼らにとっては当たり前の光景なのかもしれない。それを「放置プレイ？」と人間社会に置き換えた私の感性が間違っていたのかも知れない。

放置と言えば苦い思い出がある。私は幼稚園の頃、バイオリンを習っていた。いや習わされていたのだ。ある夜、練習をしたくないと駄々をこねると裏山の木に縛り付けられ放置された。時間にするとそれ程でもないかもしれないが、幼子にとっては恐怖の体験だった。誰だ、縛ったのは。後に母親にこの話をすると自分ではないと言う。当時は両親や姉弟のほか祖母や叔父叔母たちも暮らす大家族だった。さて誰だったのだろう。



7月の予定

☆ 11日(日) 七夕まつり ～動物たちの願いをかなえよう～

☆ 26日・27日(月・火) サマースクール

詳細はかみね動物園ホームページ <https://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>

または 0294(22)5586 までお問い合わせください



楽しい動画が
いっぱい!

YouTube



動物園の最新情報
お届けします♪

Facebook



Twitter



ぜひのぞいてみてください!